3.1	識別表示	3.1.1	請求番号	伊藤‖*
		3.1.2	資料名	伊藤延男資料　Dr. ITO Nobuo library
		3.1.3	年代域	1947年-2015年
		3.1.5	資料の分量・規模	2,186 点 （フォルダ 1,911 点 ボックス 34 点 ファイル 95 点 封筒 59 点 ほか 87 点）
3.2	コンテクスト	3.2.1	作成者名（出所）	伊藤延男(ITO Nobuo, 1925-2015)
		3.2.2	作成者の経歴情報	元東京国立文化財研究所所長、東京文化財研究所名誉研究員、文化功労者。1925年3月8日、愛知県に生まれる。1947(昭和22)年9月東京帝国大学第一工学部建築学科を卒業。同年10月から東京国立博物館保存修理課技術員に採用され、古建築の保存修理に従事。50年9月文化財保護委員会の創設とともに同事務局保存部建造物課に文部技官(研究職)として奉職。64年文化財調査官、67年奈良国立文化財研究所に出向し、同研究所建造物研究室長、71年6月文化庁に戻り文化財保護部建造物課長、77年同部文化財鑑査官、78年4月東京国立文化財研究所長を歴任し、87年3月退官。同年4月から2年間、慶応大学非常勤講師を務め、1989(平成元)年4月神戸芸術工科大学教授に就任、95年4月同大学名誉教授。99年財団法人文化財建造物保存技術協会理事長に就任、2001年同顧問となる。2015年逝去、享年90。
		3.2.3	伝来情報	2015 年 10 月 31 日の死去にともない、遺族より遺品のうち同氏の業務及び研究に関する諸資料の取扱いについての問合せが東京文化財研究所にあり、戦後の文化財保護の道程に関する一次資料としての意義や同氏が文化財保護及び建築史研究の発展に果たした業績、これまでの研究所関係者資料の収集実績に照らして寄贈を受けることとなった。寄贈受入れのための作業は文化遺産国際協力センターが担当し、18 年 8 月に寄贈に向けた遺族との打合せを行った後、具体的な作業は予算措置の関係からやや遅れて 20 年 7 月に開始した。関係資料一式を当研究所で借用して資料の整理及び目録作成の作業を進め、遺族が所有を望む資料や個人的な内容の資料等を分類、返却の後、21 年 9 月に長男の晶男氏より当研究所に寄贈された。
		3.2.4	入手元	個人（遺族）からの寄贈
3.3	内容と構造	3.3.1	範囲・内容	伊藤延男氏の文化財保護に関する行政実務、国際協力、民間活動及び建築史・文化遺産の研究等の一次資料。ただし、遺族の意向により、伊藤平左衛門関係の研究資料は同家の所有とするため含まれない。また、公刊物を中心とした主要な蔵書は同家と所縁のある武蔵野大学図書館に一括して寄贈されている。
		3.3.4	編成方法	シリーズ 1 プロジェクトファイル（文化財保護関係：国内） PF-D シリーズ 2 プロジェクトファイル（文化財保護関係：国際） PF-I シリーズ 3 研究活動 RA シリーズ 4 民間活動 PA シリーズ 5 執筆原稿 RM シリーズ 6 図 書 RB シリーズ 7 写 真 PH
3.4	アクセスと利用条件	3.4.1	利用条件	○事前予約制 閲覧希望者は、東京文化財研究所資料閲覧室 「資料ファイル閲覧の申請について」（https://www.tobunken.go.jp/joho/japanese/library/materials.html）に基づき、閲覧希望日1週間前までに「資料ファイル利用申込書」を提出すること。その後、閲覧希望者と資料閲覧室で閲覧日の日程調整をし、閲覧日を決定。
		3.4.3	資料の言語	主に日本語
		3.4.4	資料の物理的状態	4階書庫
		3.4.5	検索手段	・『伊藤延男資料目録』（東京文化財研究所文化遺産国際協力センター、2022年3月）（リポジトリ：http://id.nii.ac.jp/1440/00009155/）
3.5	重要な関連性のある他の資料	3.5.3	関連資料	
		3.5.4	参考文献	金井健「伊藤延男氏関係資料の受贈」（東京文化財研究所　活動報告、2021年9月、https://www.tobunken.go.jp/materials/katudo/919556.html） 金井健「『伊藤延男資料目録』の刊行」（東京文化財研究所　活動報告、2022年2月、https://www.tobunken.go.jp/materials/katudo/959671.html）
3.6	注記	3.6.1	注記	
3.7	記述コントロール	3.7.1	資料調査／データ作成	金井健、文化遺産国際協力センター
		3.7.3	記述年月日	2022年5月15日／2024年6月7日改訂

・本表の項目（番号）は、ISAD (G)（国際標準記録史料記述一般原則第2版）の記述エリアとおおむね対応している。

伊藤延男資料　Dr. ITO Nobuo library

内容一覧

請求番号	資料の分量		備考
シリーズ１：プロジェクトファイル（文化財保護関係：国内）			
PF-D	343 点 フォルダ 302 点 ボックス 3 点 ファイル 38 点		
シリーズ２：プロジェクトファイル（文化財保護関係：国際			
PF-I	375 点 フォルダ 344 点 ボックス 2 点 ファイル 26 点 封筒 3 点		
シリーズ３：研究活動			
RA	751点 フォルダ712点 ボックス6点 ファイル23点 封筒10点		
シリーズ４：民間活動			
PA	124 点 フォルダ 122 点 ファイル 2 点		
シリーズ５：執筆原稿			
RM	166 点 フォルダ 158 点 ボックス 6 点 ファイル 1 点 封筒 1 点		
シリーズ６：図 書			
RB	325 点 フォルダ 226 点 ボックス 3 点 ファイル 5 点 封筒 4 点 ほか 87 点		
シリーズ７：写 真			
PH	102 点 フォルダ 47 点 ボックス 14 点 封筒 41 点		